

Multiple Vertical Panning を用いた 立体音響システムにおける 移動距離の奥行表現への影響

Effect of Moving Distance on Depth Expression
in 3D Audio System Using Multiple Vertical Panning

○木村敏幸(東北学院大・情報)

- ◆大画面ディスプレイに適合する立体音響システムとして、これまでに Fig. 1 に示すような新たなる立体音響システム（Multiple Vertical Panning, MVP 方式）を提案し、実用化の可能性も示してきた。さらに、近年研究されている裸眼立体映像に適合した奥行きを表現するために、音量変化による奥行表現手法についても検討してきた。
- ◆本報告では、これまでに提案してきた MVP 方式による奥行き表現の可能性を検討するために、移動距離を変化させた場合の条件も加えたうえで、映像と音の一致度に基づいた臨場感を評価した。その結果、点音源の物理的な音量変化を模擬すれば最も臨場感が向上するということが分かった。また、MVP 方式がステレオホニックよりも臨場感が向上する場合があることも分かった。

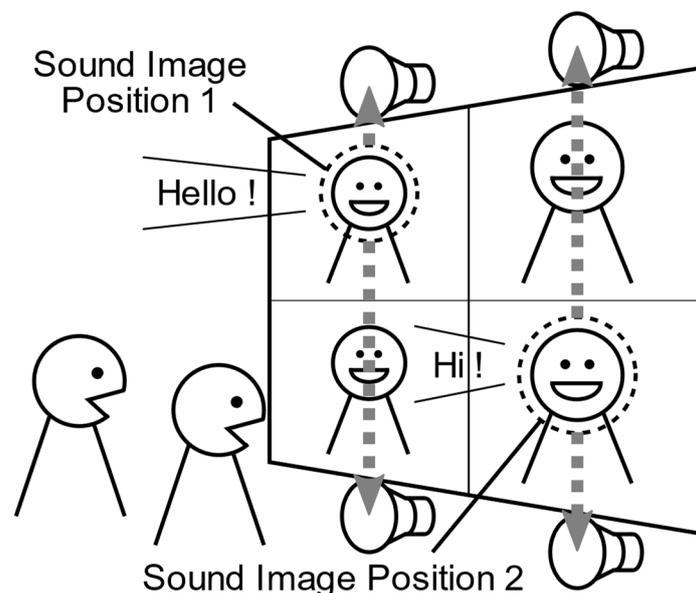


Fig.1: Diagram of the proposed MVP method.